

学校活動でのお金の使い方を学ぼう —一部活動や文化祭の予算立案と収支決算報告—

(総授業時数：6～9時間)

実施学年、教科等

第1学年～第3学年 特別活動

単元の目標

- (1) 特別活動を通して、集団生活の一層の充実を図ろうとする自主的・実践的な生活態度を養い、意思決定能力を高めるようにする。
- (2) 学校行事、生徒会活動や部活動における「予算立案、調整、実施、収支決算までのプロセス」の体験を通して、学校でのお金の使い方の基礎を理解し、実践的な生活態度を身に付けるようにする。
- (3) 個々の生徒が教科以外の活動の中で、積極的にかかわることができる場を見だし、生徒一人ひとりが充実した学校生活を体験できるようにする。
- (4) 単に現金の受け渡し、支払いということに留まらず、経済活動としての認識をもつことができるようにする。
- (5) 一連の活動を通じて、金融教育とかわる環境問題や社会参加、地域との連携について関心を持ち、社会の一員であることの自覚を深め、意欲的に取り組むことができるようにする。

展開の特色

- (1) 生徒それぞれがかかわっている学校活動—生徒会、部活動、学校行事など—のひとつを、個々にケーススタディとして設定し、予算や収支決算などを学校におけるお金にかかわる活動という共通の課題を学ぶ。
- (2) 経済活動として、例えば、年度当初に予算を立てることの必要性を理解し、昨年度の収支決算や活動の反省から課題を見だし、今年度の年間予定や不測の事態（例えば、部員の減少、大会進出など）に応じることができるように考える。
- (3) 学校でのお金の取り扱いについて、現金と貯蓄、その保管場所、会計記録や決算報告及び監査などの重要性を理解する。
- (4) 文化祭でのホームルーム企画において、参加目的や内容の充実とともに、お金の使途を考え、実践する契機とする。
- (5) 商品の価格の決定プロセスを理解する。例えば、文化祭でのクラス企画の内容を話し合い、実践するとともに、模擬店の場合は、商品仕入れから価格の決定、販売企画までの費用、展示などの場合は必要経費を、比較検討し、予算を立て、収支決算まで行うことを学ぶ。
- (6) 文化祭の企画資金を、学校からの補助やクラスでの拠出に頼るのではなく、自分たちで資金を生み出すことや、リサイクル、地域でのかかわりなどの視点から考え実践する。

「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

Aーア・イ、Bーア・イ、Cーア、Dーウ

学習内容のキーワード

学校行事、生徒会活動、部活動、予算、保管・運用、文化祭、模擬店、経費、原価、価格、資金調達、収支決算

●指導計画

時数	ねらい	学習内容・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
1	特別活動ガイダンス 学校での自主的な活動の重要性を考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームルームの組織づくりと学校内の自主的な活動のあり方について考える。 ・ホームルーム内の係・委員の選出 ・学校内の所属集団(部活動、同好会、生徒会など)と役割の自己紹介 ・生徒一人ひとりの活動目標を決める。 		<ul style="list-style-type: none"> ★ホームルームの組織づくりを中心に据えながら、生徒一人ひとりが学校内における集団へ所属し、適応できるように指導・援助する。 	
2	年間計画① 「年間予算を立てよう」 学校でのお金を計画的に使うことの重要性を考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の諸活動について、昨年度の収支決算を踏まえて、今年度の予算を立てる。学校でのお金の動きを理解し、活動目的に沿ったお金の使い方を考える。 <グループ活動> ・グループ分け：生徒が所属または関心をもっている部活動、生徒会、委員会や学校行事(文化祭、体育祭、合唱祭など)を選択して、グループに分かれる。 ・昨年度の収支決算を行い、問題点がないか話し合う。 ・昨年度の資料や今後の予定に基づき、今年度の予算を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆予算を立てる際に、行事予定や収入・支出の概算、昨年度の問題点の見直しなどを踏まえて、計画することを意識させる。 ◆シミュレーションであるが、場合によっては、昨年度の残金と収支決算の確認を行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★事前に、予算を立てようとしている活動(部活動、生徒会、委員会、学校行事)の昨年度の収支の資料や活動記録を持参するように指導する。また、資料がないグループのために、学校内の類似した資料のコピーを準備しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と今年度の生徒会活動費や学校行事及び部活動補助関係資料
3	年間計画② 「活動費の運用を考えよう」 活動費の保管の安全性と運用について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度の繰越金や、すぐには使わない活動費について、安全性(盗難なども含む)にも考慮した運用方法には、どのようなものがあるのかを調べる。自分たちの活動費の運用を実際に検討してみる。 ・現在の保管場所の問題点を考える。 ・金融商品の種類を理解し、どこにどのような商品に預けるかを検討する。 ・候補先に、預けるための手続きを確認する。通帳などの保管先も検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆お金の役割のうち、交換手段だけでなく、富の貯蔵手段にも目を向けさせる。金融商品に種類があることを知るとともに、不確実性と流動性の点から理解させる。学校の活動費の目的に応じた金融商品を選択することを、預け入れ先を具体的に検討することを通して、考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★予算を立て、運用を考えるのはシミュレーションであることを再確認する。クラスの学校行事に関しては、あらかじめ話し合うこと、部活動や学校行事などは、部員や委員と話し合い、顧問の了解を得てから実際に行動するように注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材のワークシート例を参照
4 5	文化祭企画① クラス企画を決めよう	<ul style="list-style-type: none"> ●第1週—グループ単位で、クラス企画案を話し合い、プレゼン資料を作成する。 ●第2週—各グループの企画案を発表し、クラス企画を決定する。 ・各グループの発表後、どの企画を採用するか、統合するかを話し合う。 ・係の選出(会計担当数名、監査役2名も含めて選出) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆文化祭へのクラス参加を通じて、予算を企画・調整・執行するプロセスを学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★食品販売の場合は、保健所への届け出の手続きや、承認が得られない場合の代案も検討させる。 	
6	文化祭企画② プランを立てよう	<ul style="list-style-type: none"> ●企画内容について、アイデアを出し合いながら検討する。 ・模擬店—商品の特徴、品質、サービスを練る。 ・展示・演劇—構想を練る。 ●企画に沿った予算を立てる。 ●予算の不足額をどのように調整するかは、次回のテーマとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆商品企画では、品質やサービスの重要性を理解させる。価格については、次回検討する。 ◆次回までに、仕入れ値段の比較検討材料を調べさせ、それに基づき価格を検討させる。 ◆資金調達のアプローチを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★文化祭までのスケジュールを立て、各担当との連携を取ることを指導する。 ★商品の制作・調理工程、販売方法の検討と並行して、予算を立てる。 	
7 8	文化祭企画③ —模擬店企画編① 「仕入れの検討と原価計算」 —模擬店企画編② 「集客力up作戦」 価格競争や市場経済の仕組みを理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> ●仕入れ値を検討し、仕入れ先を決定し、資金として必要な金額を把握する。 ・模擬店で必要な資材、商品を作るために必要な材料などをリストアップして、経費を算出する。 ・模擬店での商品の原価を算出する。 ・原価に基づいて、価格を決定する。必要に応じて予算を見直す。 ●売れ残りが出ないように、文化祭当日の作戦を立てる。 ・当日、他のクラスの価格を調査し、売れ行きに応じて、価格を変更するかどうか、検討する。価格を変える場合、どの時点で実行するかも考える。 ・原価に基づき、価格の値下げ幅を検討してみる。 ・学校内での立地条件を検討し、効果的な宣伝方法を検討する。(例—ポスター設置場所、チラシの配付場所、宣伝時間など) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆原価算出を通じて、商品の価格に何が含まれているのかを学ぶ。 ◆原価と利潤だけでなく、市場価格を考えて決定することや、市場メカニズムの基本と限界を学ぶ。 ◆競争相手とは異なる戦略が必要なことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ★試作、試食会の日程も計画させる。 ★学校によっては、販売価格の変更禁止がルール化されている場合もある。その場合は、販売個数のマーケティングリサーチ、昨年度の実績からの検討などを通じて、赤字にならない工夫を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材のワークシート例を参照

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

時数	ねらい	学習内容・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
7 8	文化祭企画③ —展示・演劇企画編 「資金調達を考えよう」	<ul style="list-style-type: none"> ●文化祭の資金について、どのように調達するかを話し合う(例えば、生徒会補助では不足する額を、事前にクラス全員が立て替える方法以外にないか?)。 ＜アイデア例＞ お金をかけない方法の検討 <ul style="list-style-type: none"> —家庭の不用品、他のイベントの不用品などをリサイクル材料として調達する。公共施設や他校の道具貸し出しを探してみる。 フリーマーケット参加 <ul style="list-style-type: none"> —各家庭の不用品を集めて、夏休み中に地域のフリーマーケットに参加し、その代金を資金とする。 ボランティアに参加して地域通貨ゲット <ul style="list-style-type: none"> —地域で行われる「まちづくりイベント—落書き消しと雑草取り」に参加し、ボランティアの対価としての地域通貨を資金として、地域商店で仕入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆環境問題と金融教育は密接に関係している。文化祭の資金を学校や生徒会からの補助と生徒たちからの徴収ということで考えるのではなく、次の2つの視点から捉えることを気付かせる。 ◆すべてを購入するのではなく、リサイクルやリユースから見直す。 ◆地域の環境保護活動に参加し、地域とのかかわりの中で資源を調達する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★環境問題や社会参加と連携させて、指導する。 ★文化祭を楽しむこと、クラスで協働して行うことに主眼を置く。 ★地域との連絡を密接に行い、学校外での活動に支障をきたさないように配慮する。 	
9	文化祭の収支決算ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ●収支決算報告書の作成、決算の承認、周知の方法などを理解する。 ・各担当者からの収支報告に基づき、収支決算報告書を作成する。 ・収支決算を報告し、承認の手続きを行う。 ・赤字の場合は補填の方法、黒字の場合は使い道を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆決算書の作成方法や、決算報告の意味を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★文化祭などの学校行事だけでなく、部活動の宿の決算報告など、生徒の実情に応じた内容でも行える。 	

●教材・資料等 (授業で用いる教材や資料、ワークシート等)

参考資料

HRワークシート 活動費の運用を考えよう

グループ: 陸上部

- 活動費の保管場所をどこにするか?
 現在: 缶に入れて、部室の隠し場所に保管 ⇒ 問題点 部室に鍵はかかるが、心配
 ⇒ 今年度: 安全な場所を検討したい どこがいいのか調べる
- 活動費の預け先を検討しよう!
 <金融商品の種類>
預貯金⇒銀行で扱われる「預金」と、郵便局で扱われる「貯金」と合わせて「預貯金」と呼びます。
 ・普通預金、通常貯金: 一番身近で、換金性・安全性に優れていてお財布がわりに使えて便利
 ・貯蓄預金: 出し入れ自由で、普通預貯金より高い金利がつく
 ・定期性預貯金: 一旦預けると、原則として決められた期日まで出すことができないが、普通預金より金利が有利
株式⇒ハイリスク・ハイリターン **投資信託**⇒元本保証商品ではない **信託**⇒預貯金より換金性が低い、株式よりは安全
外貨建て金融商品⇒為替手数料がかかる、為替変動のリスクあり
元本とは?⇒当初支払った元手という意味で、金融商品の購入・投資に充てた資金の額のこと。この元本が確実に戻るかどうかが安全性の判断基準になる。元本保証とは、全運用期間にわたって元本の額が減らない(元本割れない)ことを保証するもの。
 預け先の候補: 〇〇銀行〇〇支店の普通預金、〇〇郵便局〇〇局の普通貯金
新人戦の参加費は積立貯金
- 預け先に確認することは何?(次回までに聞いてくることを挙げてみよう)
 ①口座を開設するのに必要なものは?
 ②〇〇高校陸上部という団体名でOKされるのか?その場合はハンコはどうなるの?
 ③キャッシュカードは作れるのか?
 ④積立貯金と定期預金の利率
- 通帳などの保管場所を検討しよう
 保管先の候補: 部長の自宅? 会計の〇〇さん? やっぱり顧問の〇〇先生かな?
部のミーティングで決める

HRワークシート ○〇の価格を考えよう

グループ: B 班

- 探してきた仕入れ先の情報
 店名: 〇〇商店街の〇〇スーパー (店長さんは、大先輩らしい、値引きをしてくれるとのこと)
 仕入れ価格: お団子業務用〇〇円/2本、ジュース業務用缶〇〇円/1缶、容器〇円/10枚
- 原価を計算してみよう
 <参考: 携帯電話の価格の内訳>
 ① 原材料費⇒素材となるプラスチックやICチップなど
 ② 人件費
 ③ 減価償却費⇒製造ラインの機械などの購入代金の中で、消耗した部分を補うもの
 ④ 管理費⇒工場などの管理費用
 ⑤ 運送費⇒商品を運ぶ費用
 ⑥ 広告宣伝費
 ⑦ 販売費
 ・この費用を原価と呼ぶが、企業はこれに利潤を上乗せして、商品価格を決定する(コストプラス方式)。
 ・原価とは、1つの製品を作るのにかかる費用のこと。
 ・企業は、ライバルとの競争も考えて、価格を設定する(市場価格基準方式)。

	100食分	
原材料費	〇〇〇円	お団子 〇〇〇円/5本、ジュース 〇〇円/1缶
装飾費	〇〇〇円	ポスター用紙 〇〇円 チラシ用紙 無料(裏紙使用)
販売費	〇〇〇円	使い捨て皿 〇〇〇円/100枚
原価	〇〇円	

- 仕入れ先と価格を検討しよう
 A 班の原価 〇〇円 セールスポイント: 量販店……単価が安い
 B 班の原価 〇〇円 セールスポイント: 地元商店街、卒業生のお店……大幅な値引き
 C 班の原価 〇〇円 セールスポイント: 〇〇さんの実家……余ったら返品OK
 D 班の原価 〇〇円 セールスポイント: ネットショップ……卸価格 但し、事前に振り込み
 仕入れ先の決定: 〇班の案を採用

1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

生徒の作品例 (サッカー部の予算計画書)

サッカー部 2006 年度予算

(単位:円)

【昨年度の反省】

- 繰越金が多すぎた。
 ・部員減少に伴う消耗品支出の減少のため。
 ・怪我が少なく、医薬品の支出が減少したため。
 ・安い店に買いに行ったため。

【今年度の計画】

- ・昨年度に引き続き、安い店に買いに行く。
 ・昨年度は繰越金が多かったが、今年度は校友会補助金が3分の1に減ったので、消耗品の支出を抑えた予算にする。

(単位:円)

予定表	大会費など	
4月 総体地区予選	大会費	10,000
校友会予算 公費	サッカー協会加盟費	10,000
5月		
6月 審判講習会	審判講習会代	10,000
7月		
8月 合宿		
高校サッカー選手権地区予選	大会費	10,000
9月		
10月		
11月 新人戦地区予選	大会費	10,000
12月		
1月		
2月 校友会予算請求		
3月		

収入(予定)		支出(予定)	
前年度の繰越		33,182	
公費	(請求内訳)	80,000	
	サッカー協会 加盟費	10,000	→ サッカー協会 加盟費 10,000
	大会費	10,000	→ 大会費 10,000
	大会費	10,000	→ 大会費 10,000
	大会費	10,000	→ 大会費 10,000
	ボール	40,000	→ ボール 40,000
校友会予算	(請求内訳)	41,800	
	キネシオテープ	18,900	→ キネシオテープ 18,900
	テーピングテープ	10,000	→ テーピングテープ 10,000
	コールドスプレー	6,000	→ コールドスプレー 6,000
	空気入れ	4,200	→ 空気入れ 4,200
	ボールケース	2,700	→ ボールケース 2,700
部費	(1人500円×25名×12ヶ月)	150,000	氷(単価¥242) 17,000
			粉末ボカリ(単価¥500) 18,000
			麦茶パック(単価¥300) 1,800
			コールドスプレー(単価¥800) 8,000
			エア-サロパス(単価¥2,000) 12,000
			洗濯用洗剤(単価¥250) 1,000
			ボディ-ソープ・シャンプー 4,000
			はちみつレモン費 4,500
			ビデオカセット(単価¥1,000) 6,000
			医薬品類 10,000
			合宿費(医薬品・お土産など) 20,000
			スコアブック(単価¥1,000) 3,000
			審判講習会代(2人分) 10,000
			卒業プレゼント(花・色紙) 8,500
			予備費 59,382
計		304,982	計 304,982